Canon

プリンタを
運ぶときには

プリンタドライバ
インストール

1 2 3

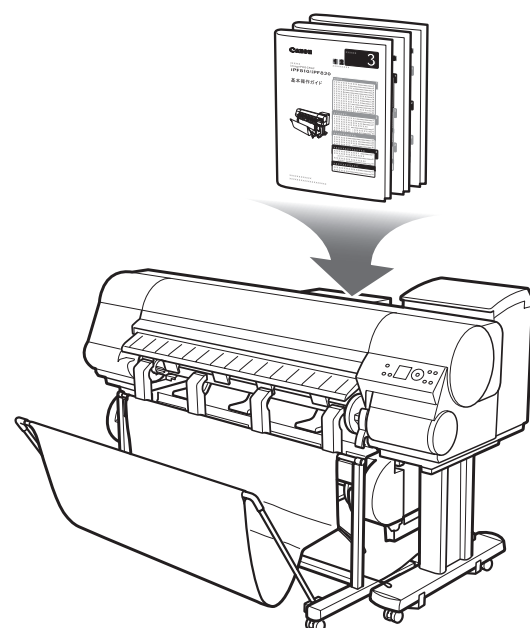
基本操作ガイドは、3 冊構成です。
必ず1本体操作ガイドの「⚠安全にお使いいただくために」をお読みください。

大判プリンタ
imagePROGRAF
iPF810/iPF820

基本操作ガイド

本体操作 1

困ったときには 2

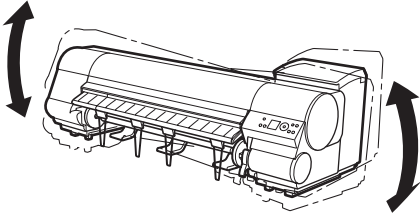
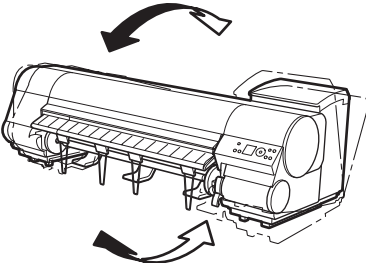
プリンタを運ぶときには 3

プリンタドライバインストール

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

プリンタの輸送の準備をする

ここでは、プリンタの輸送の準備について説明します。

プリンタを輸送する場合は、内部機構を保護するために、必ず、輸送の前に以下の手順を行ってください。プリンタの梱包作業、輸送後の設置作業については、セットアップガイドを参照してください。

重要

- プリンタを輸送する場合は、必ずキヤノンお客様相談センターへご連絡ください。適切な対応を行わずにプリンタ本体を傾けたり立てたりすると、内部のインクが漏れ出し、故障の原因になります。

メモ

- [ディスプレイ] にメンテナンスカートリッジの交換または残り容量の確認を指示するメッセージが表示されている場合は、輸送の準備はできません。メンテナンスカートリッジを交換してから、輸送の準備をしてください。（→1 メンテナンスカートリッジを交換する）
- 輸送の準備時（輸送準備のためのメニュー実行時）に、プリンタの状態によっては、部品交換が必要な場合があります。
- 以下の表のレベル 2 またはレベル 3 の輸送を行う場合、インク抜きの処理が行われます。事前にメンテナンスカートリッジを準備してください。
- 以下の表のレベル 3 の輸送を行う場合は、必ず担当サービスの指示に従ってください。

レベル	輸送形態（例）	傾け許容角度	廃インク量	必要なメンテナンスカートリッジ（*1）
1	トラックによる輸送	長手方向:0° ～30° 回転方向:0° ～10°	0	0または1
2	飛行機による輸送	全方向:0° ～30°	約200ml	1または2
3	エレベータや階段で傾けたり立てて行う輸送	長手方向:0° ～90° 回転方向:0° ～30°	約700ml	2または3

*1:必要なメンテナンスカートリッジの個数は、使用中のメンテナンスカートリッジの容量により異なります。

用紙を取り外す

1 [キャスター付バスケット]を取り外します。(iPF820のみ)

2 用紙を取り外します。
ロール紙の場合(→1ロール紙をプリンタから取り外す)
カット紙の場合(→1カット紙を取り外す)

本体輸送のメニューを選択する

1 [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2 [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾒﾝﾃﾅﾝｽ]を選択し、[▶]キーを押します。

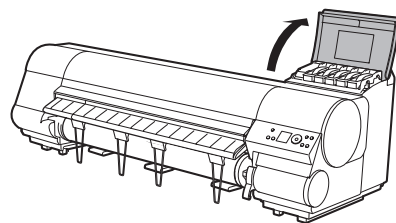
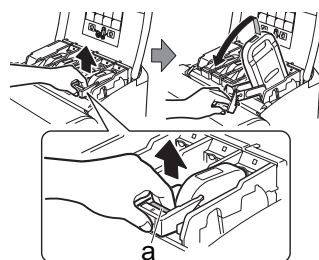
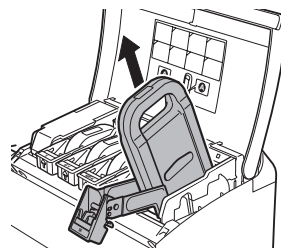
3 [▲]キー、[▼]キーを押して[本体輸送]を選択し、[▶]キーを押します。

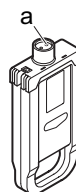
4 [▲]キー、[▼]キーを押して輸送のレベルを選択し、[OK]キーを押します。

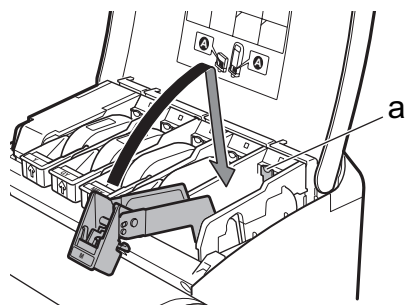
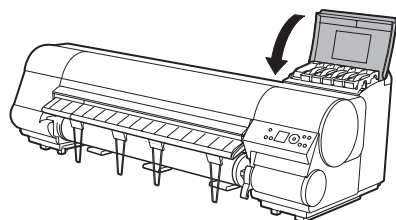
5 [ディスプレイ]に、[本体輸送については、必ず担当ｻｰﾋﾞｽにご相談の上、実行してください。]と表示されますので、[OK]キーを押してください。
- [ﾚﾍﾞﾙ1]を選択し、本体輸送処理が完了すると、[ディスプレイ]に[本体輸送処理が完了しました。電源を切ってください。]と表示されます。この場合は、「プリンタを梱包する」に進んでください。
- [ﾚﾍﾞﾙ2]または[ﾚﾍﾞﾙ3]を選択した場合は、準備が完了すると、[ディスプレイ]に[インクタンクカバー]を開けるメッセージが表示されます。この場合は、「インクタンクを取り外す」に進んでください。

> 重要
> - 消耗部品の交換が必要な場合は、[ディスプレイ]に[消耗部品の交換が必要です。担当ｻｰﾋﾞｽにご相談ください。]と表示され、準備ができません。このメッセージが表示された場合は、[OK]キーを押して、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

インクタンクを取り外す

1 [インクタンクカバー] を開きます。

2 インクタンク固定レバーのストッパー（a）を持ち上げて、インクタンク固定レバーを止まるところまで引き上げてから、手前に倒します。

3 インクタンクを取り出します。

注意

- 取り出したインクタンクは､インク供給部（a）を上にして、梱包箱に入れて保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

4 手順 2 ～ 3 を繰り返し、すべてのインクタンクを取り出します。

5 図の解除レバー（a）を押しながら、すべてのインクタンク固定レバーを静かに元の位置に戻します。

6 [インクタンクカバー] を閉じます。

チューブ内のインクが吸引されます。

注意

- 吸引中はメンテナンスカートリッジを取り外さないでください。

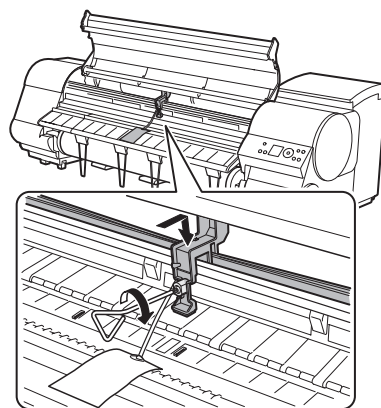
処理が終わると、[本体輸送処理が完了しました。電源を切ってください。] と表示されます。

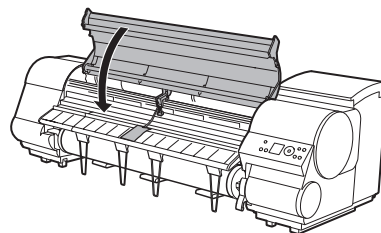
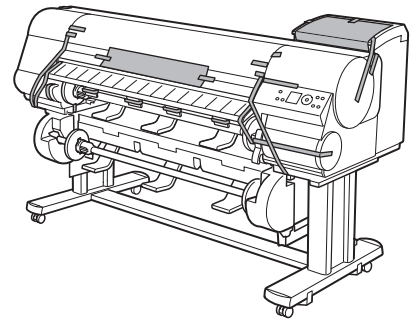
プリンタを梱包する

1 [電源] キーを押して、電源をオフにします。

重要
- 電源をオフにしてから電源コードを抜いてください。オフにする前に抜いてしまった場合は、そのまま輸送するとプリンタの故障の原因になります。電源コードとインクタンクを取り付けてオフラインになった後、最初からやり直してください。

2 電源コード、アース線、インタフェースケーブルを取り外します。また､機種により [ロールユニット] の電源コードや [巻き取り装置] の電源コードを取り外します。

3 [上カバー] を開き、[ベルト] をつまんでベルトストッパに挟み、図の位置にベルトストッパを六角ビスで固定します。

重要
- ベルトストッパは、開梱時に取り外して保管しておいたものを取り付けてください。ベルトストッパを取り付けないと、故障の原因になります。

4 [上カバー] を閉じます。

5 開梱時と逆の手順でプリンタの各カバーをテープで固定します。

6 プリンタ本体を取り付け時と逆の手順で [スタンド] から取り外します。

7 [スタンド] を、設置時と逆の手順で分解して梱包します。

8 [ロールホルダー]、[ホルダーストッパ]、プリンタなどに梱包材を取り付け、梱包箱に収納します。

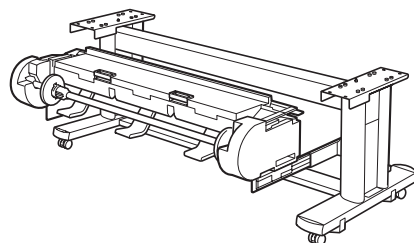
プリンタを再設置する

ここでは、プリンタの再設置の流れを簡単に説明します。
詳しい手順につきましては、セットアップガイドを参照してください。

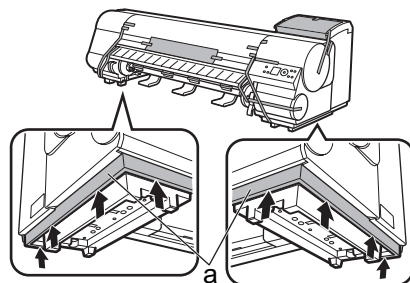
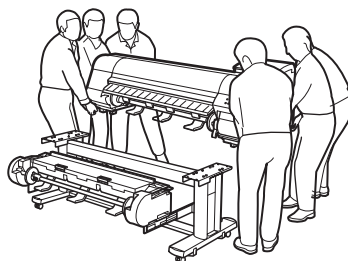
スタンドを組み立てる

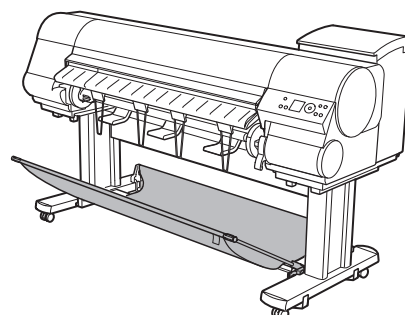
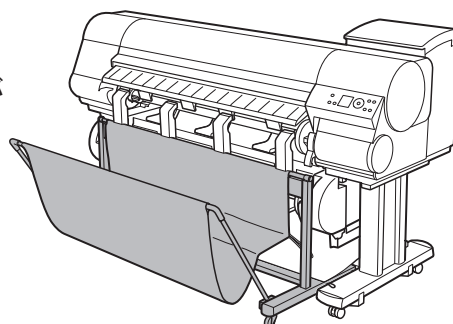
注意

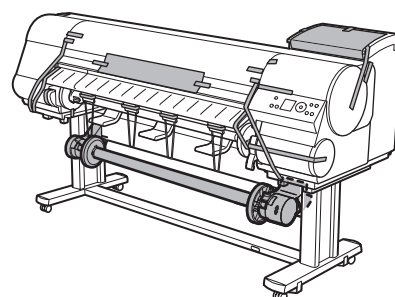
- [スタンド] は、必ず 2 人以上で、平らな場所を利用して組み立ててください。1 人で作業すると、けがの原因になったり、[スタンド] の歪みの原因になります。
- [スタンド] を組み立てる際は、キャスターをロックしてください。また、組み立てた [スタンド] を移動するときは、必ずロックを解除してください。設置場所に傷が付いたり、けがの原因になります。

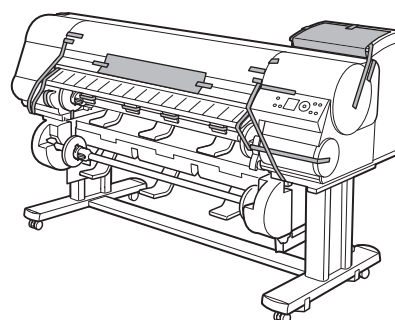
プリンタスタンドセットアップガイドを参照して、[スタンド] を組み立てます。
iPF820 の場合は、[スタンド] に [ロールユニット] を取り付けます。

プリンタを設置する

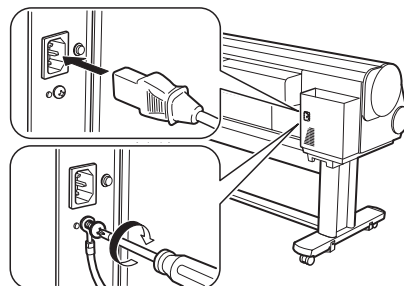
注意

- iPF810/iPF820 は、本体のみで約 112kg あります。プリンタを持ち運ぶときは、必ず 6 人以上で左右から持ち、腰などを痛めないように注意してください。
- プリンタを持ち運ぶときは、左右底面の [運搬用取っ手](a) をしっかりと持ってください。他の場所を持つと不安定になり、落としてけがをする場合があります。

組み立てた [スタンド] にプリンタを載せ、ビスでしっかりと固定します。

バスケットを取り付ける

[スタンド固定型バスケット] を取り付ける場合は、プリンタスタンドセットアップガイドを参照します。
[キャスター付バスケット] を取り付ける場合は、キャスター付バスケット セットアップガイドを参照します。

巻き取り装置を取り付ける（iPF810：オプション）

[巻き取り装置] に同梱されているセットアップガイドを参照して、[巻き取り装置] を取り付けます。

梱包材を取り外す

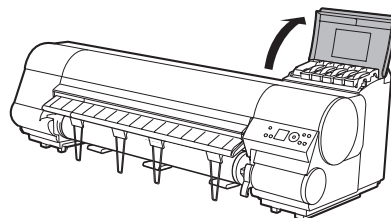
プリンタ本体に取り付けられているテープや梱包材を取り除きます。また、[上カバー] を開き、プリンタ内部のストッパやスペーサを取り外します。

電源コードとアースを接続する

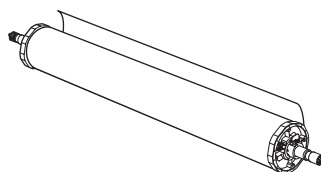
プリンタ背面の [電源コネクタ] に電源コードを差し込み、プリンタ背面のアース端子に市販のドライバを使ってアース線を取り付けます。

アース端子にアース線を、コンセントに電源コードを接続します。

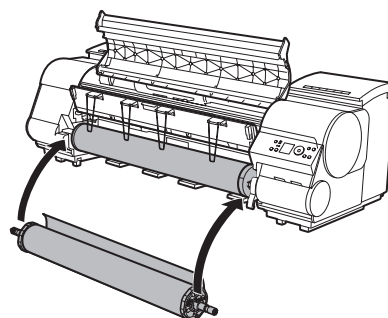
電源を入れる

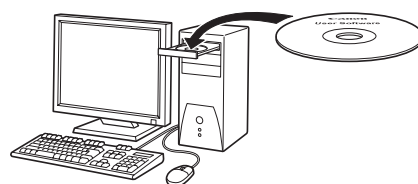
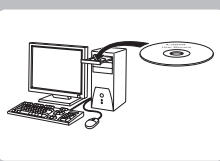
電源スイッチを押して、電源を入れます。
[ﾌﾟﾘﾝﾀを再設置しますか ?(ｲﾝｸﾀﾝｸはまだ取り付けないでください)] と表示されたら、[はい] を選択し、[OK] キーを押します。

インクタンクを取り付ける

[インクタンクカバー] を開けて、インクタンクをセットします。

ロール紙にロールホルダーをセットする

ロール紙に [ロールホルダー] をセットします。（→1ロール紙にロールホルダーをセットする）

ロール紙をプリンタにセットする

ロール紙をプリンタにセットします。（→1ロール紙をプリンタにセットする）

プリンタドライバとマニュアルをインストールする

ご使用の接続方法により、インストール手順が異なりますので注意してください。
（→3プリンタドライバをインストールする（Windows））
（→3プリンタドライバをインストールする（Mac OS X））

プリンタドライバをインストールする（Windows）

ここでは、プリンタドライバのインストール方法を簡単に説明します。
詳しい手順につきましては、セットアップガイドを参照してください。

対応しているOS

Windows Server 2008、Windows Vista、Windows Server 2003、Windows XP、Windows 2000

使用できる接続方法

USB 接続、IEEE1394 接続、TCP/IP（ネットワーク）接続で使用できます。
ご使用の接続方法によって、インストール手順が異なります。
以下の説明に従ってプリンタドライバと製品マニュアルをインストールしてください。

プリンタドライバと製品マニュアルをインストールする

重要

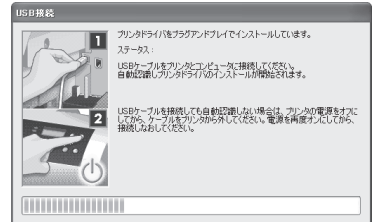
- USB 接続および IEEE1394 接続で使用する場合は、プリンタドライバのインストール中に、画面の指示に従ってプリンタとコンピュータをケーブルで接続してください。
  プリンタとコンピュータをケーブルで接続したままインストールを開始すると、プリンタドライバが正しくインストールされない場合があります。
- 再設置の際に、プリンタの IP アドレスが変更になった場合は、必ずプリンタの IP アドレスを設定しなおしてください。

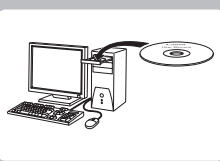
1 TCP/IP（ネットワーク）接続の場合は、プリンタの電源がオンになっていることを確認し、LAN ケーブルでプリンタ背面の Ethernet コネクタと HUB のポートを接続します。

2 お使いの OS に合った付属の User Software CD-ROM を、コンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。

3 画面の指示に従ってインストールを行います。

重要

- USB 接続および IEEE1394 接続の場合は、右のダイアログボックスが表示されたら、プリンタの電源がオンになっていることを確認し、ケーブルでプリンタとコンピュータを接続します。

4 [完了] ウィンドウで、[ただちにコンピュータを再起動します] を選択し、[再起動] をクリックします。
コンピュータの再起動後、プリンタドライバの設定が有効になります。

5 引き続き、製品マニュアルをインストールします。
[製品マニュアルのインストール] ダイアログボックスが表示されたら、付属の User Software CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットし、インストールを開始します。

プリンタドライバをインストールする（Mac OS X）

ここでは、プリンタドライバのインストール方法を簡単に説明します。
詳しい手順につきましては、セットアップガイドを参照してください。

対応しているOS

Mac OS X 10.2.8 以降

使用できる接続方法

OS のバージョンにより、使用できる接続方法が異なります。

- USB 接続：Mac OS X 10.2.8 以降
  （ただし、Hi-Speed USB で接続する場合は、Mac OS X 10.3.3 以降）
- IEEE1394(FireWire) 接続：Mac OS X 10.2.8 以降
- ネットワーク接続
  AppleTalk：Mac OS X 10.4 以前
  Bonjour：Mac OS X 10.2.8 以降
  IP：Mac OS X 10.5
  Canon IP(iPF)：Mac OS X 10.4 以前

プリンタドライバと製品マニュアルをインストールする

重要

- 再設置の際に、プリンタの IP アドレスが変更になった場合は、必ずプリンタの IP アドレスを設定しなおしてください。
- AppleTalk 接続で使用する場合は、コンピュータとプリンタのネットワーク機能を設定しておいてください。

1 プリンタをコンピュータまたはネットワークにケーブルで接続します。

2 プリンタおよびコンピュータの電源を入れます。

3 お使いの OS に合った付属の User Software CD-ROM を、コンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。

4 画面の指示に従ってインストールを行います。

5 インストールが完了したら、[終了] をクリックします。

重要

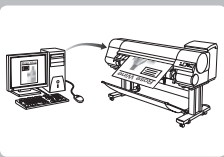
- IEEE1394（FireWire）で接続した場合は、自動的に起動するアプリケーションを終了して、コンピュータを再起動してください。その後もう一度はじめからインストールを行なってください。

メモ

- Mac OS X 10.5 の場合は、引き続きプリンタの登録と用紙情報の更新を行ないます。
- Mac OS X 10.4 以前の場合は、用紙情報の更新を行ないます。

6 引き続き、製品マニュアルをインストールします。
付属の User Manuals CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットして、インストールを開始します。

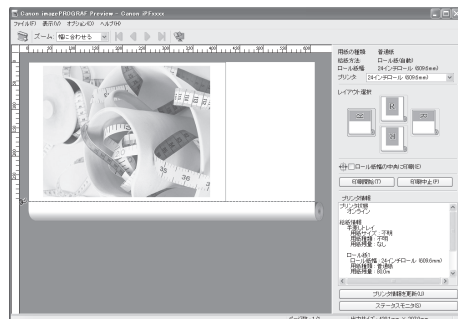
重要

- Mac OS X 10.4 以前の場合は、製品マニュアルをインストールした後に、プリンタを選択します。

プリンタドライバの便利な機能

ここでは、プリンタドライバの便利な機能を簡単に紹介します。
プリンタドライバの詳しい使い方については、取扱説明書を参照してください。

印刷プレビュー

印刷プレビュー機能を使用することで、以下のことができます。

- 画像の印刷位置を、実際の用紙の上に配置したイメージで確認できます。
  印刷することなく、印刷結果のイメージを確認することで、印刷コストを抑えることができます。
- 用紙に合わせてレイアウト方向が変更できます。
  用紙上のレイアウト方向を適切に変更することで、用紙を節約できます。

OSごとの設定方法

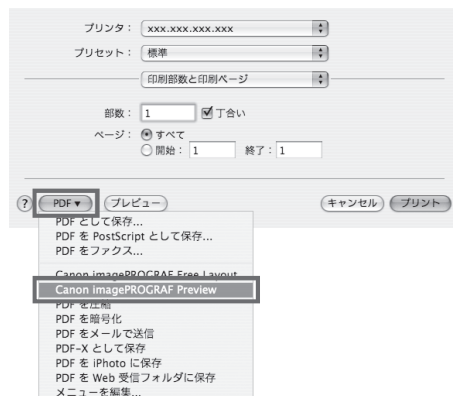
Windows

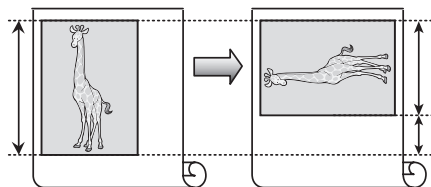
- [基本設定] シートを表示します。
- [印刷時にプレビュー画面を表示] チェックボックスをオンにします。
  [情報] ダイアログボックスが開いたら、内容を確認してから [OK] をクリックして [情報] ダイアログボックスを閉じます。
- [OK] をクリックして印刷を実行すると、ご使用の環境によって [imagePROGRAF Preview] または [PageComposer] のウィンドウが開きます。

メモ

- 設定や環境によっては [PageComposer] が起動する場合があります。

Mac OS X

- アプリケーションソフトの [ファイル] メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[プリント] ダイアログボックスを開きます。
- [プリント] ダイアログボックスの［PDF］ワークフローメニューから [Canon imagePROGRAF Preview] を選択します。

ページを90度回転（用紙節約）

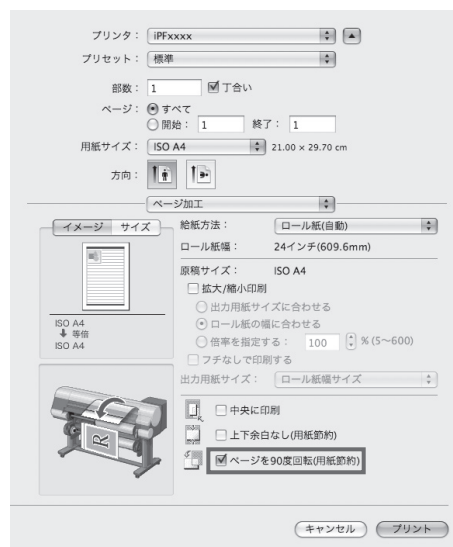
原稿に合わせた設定を行うことで、ロール紙を節約することができます。
縦長の原稿を印刷するとき、原稿の縦の長さがロール紙の幅に収まる場合、原稿を自動的に 90 度回転して印刷します。これにより、用紙を節約できます。

- 回転するとロール紙の幅に収まらない場合も、ロール紙の幅に合わせて拡大 / 縮小する機能を同時に使用すれば、ページを回転して印刷できます。

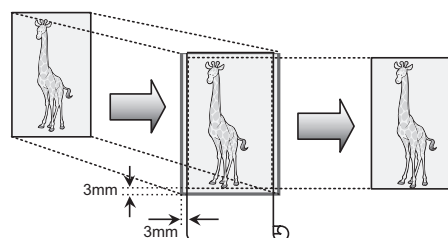
OSごとの設定方法

Windows

- [ページ設定] シートを表示します。
- [ページを 90 度回転 (用紙節約)] チェックボックスをオンにします。

Mac OS X

- [ページ加工] パネルを表示します。
- [ページを 90 度回転 (用紙節約)] チェックボックスをオンにします。

フチなし印刷

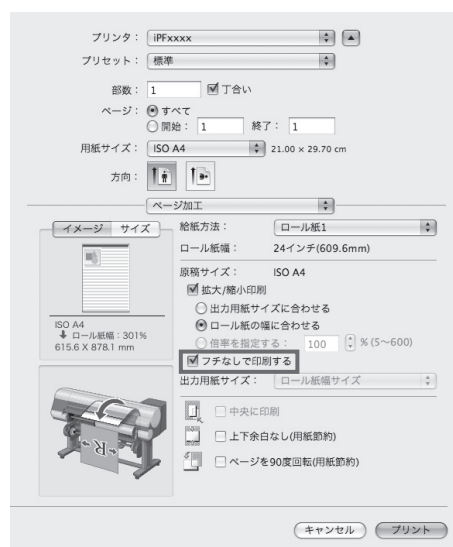
通常の印刷では、原稿の周囲にプリンタの動作に必要な余白が入ります。フチなし印刷では、原稿の周囲に余白を入れず、用紙の全面に印刷します。

OSごとの設定方法

Windows

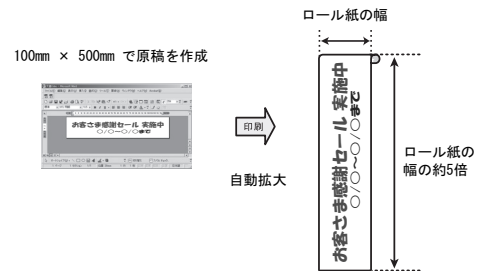
- [ページ設定] シートを表示します。
- [フチなし印刷] チェックボックスをオンにし、[情報] ダイアログボックスを開きます。
- [ロール紙幅] の一覧から、プリンタにセットされているロール紙の幅をクリックします。
- [OK] をクリックし、[情報] ダイアログボックスを閉じます。
- [出力用紙サイズに合わせる]、[ロール紙の幅に合わせて拡大 / 縮小する]、[画像を原寸大で印刷する] のいずれかを選択します。

Mac OS X

- [ページ加工] パネルを表示します。
- [拡大 / 縮小印刷] チェックボックスをオンにします。
- [フチなしで印刷する] チェックボックスをオンにします。
- [出力用紙サイズに合わせる]、[ロール紙の幅に合わせる] のいずれかを選択します。

メモ

- プリンタにセットされている用紙のサイズが [原稿サイズ] と同じ場合は、[ページ属性] ダイアログボックスで、[用紙サイズ] から［XXXX- フチなし］（XXXX は原稿サイズ）を選択するとフチなし印刷ができます。（Mac OS X のみ）

長尺印刷

通常帯状の原稿をロール紙に印刷し、大きな垂れ幕や横断幕を作成できます。
Microsoft Word などのアプリケーションソフトで任意のサイズで作成した原稿を、プリンタドライバで簡単にロール紙の幅いっぱいに拡大できます。

OSごとの設定方法

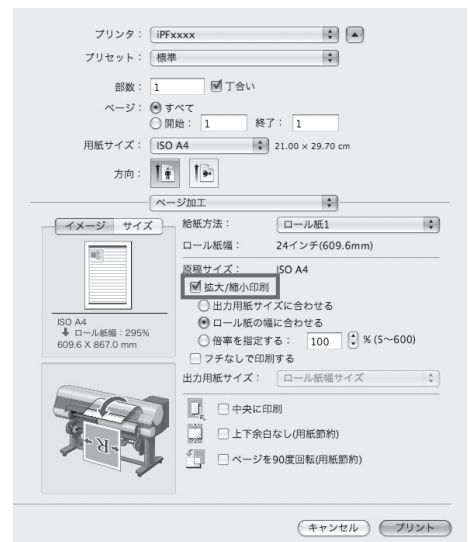
Windows

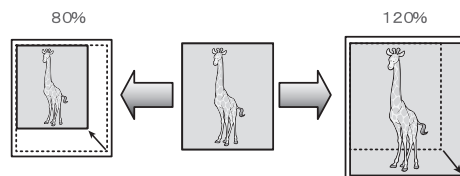
- [ページ設定] シートを表示します。
- [ユーザ用紙設定] をクリックし、原稿のサイズを登録します。
- [拡大 / 縮小印刷] チェックボックスをオンにします。
- [ロール紙の幅に合わせる] をクリックし、[情報] ダイアログボックスを開きます。
- [ロール紙幅] の一覧から､プリンタにセットされているロール紙の幅をクリックし、[OK] をクリックします。

Mac OS X

- [ページ加工] パネルを表示します。
- [ロール紙幅] で、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されていることを確認します。
- [原稿サイズ] で、作成した原稿のサイズが表示されていることを確認します。

[カスタム・ページ・サイズ] を登録していない場合は、原稿のサイズをロール紙の幅に合わせます。

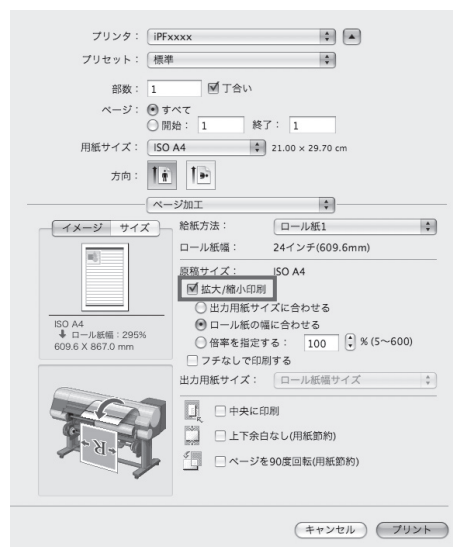
- [拡大 / 縮小印刷] チェックボックスをオンにします。
- [ロール紙の幅に合わせる] をクリックします。

拡大/縮小印刷

原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、印刷するサイズを自由に調整できます。

OSごとの設定方法

Windows

- [ページ設定] シートを表示します。
- [ロール紙幅] の一覧から、プリンタにセットされているロール紙の幅をクリックします。
- [原稿サイズ] の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズをクリックします。
- [拡大 / 縮小印刷] チェックボックスをオンにします。
- [出力用紙サイズに合わせる]、[ロール紙の幅に合わせる]、[倍率を指定する] のいずれかを選択します。

Mac OS X

- [ページ加工] パネルを表示します。
- [ロール紙幅] で、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されていることを確認します。
- [原稿サイズ] で、作成した原稿のサイズが表示されていることを確認します。
- [拡大 / 縮小印刷] チェックボックスをオンにします。
- [出力用紙サイズに合わせる]、[ロール紙の幅に合わせる]、[倍率を指定する] のいずれかを選択します。

HDIドライバを使って印刷する（Windows）

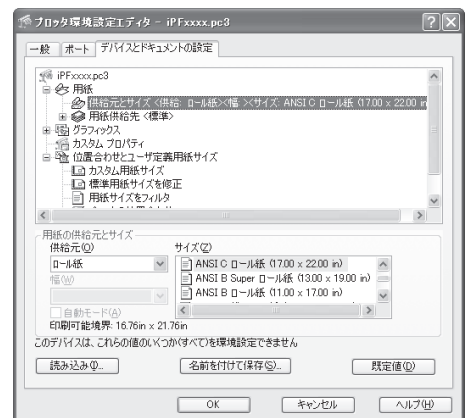
HDI Driver の主な特長は以下のとおりです。

- オートデスク社の CAD 用ソフトウェア [AutoCAD] および [AutoCAD LT]（以下 [AutoCAD]）のアーキテクチャ、[HDI（Heidi Device Interface）] に対応した専用プリンタドライバです。
- 用紙に合わせた最適な印刷設定が可能になり、[AutoCAD] で作成した図面を鮮明に印刷することができます。

メモ

- HDI Driver の動作する OS は、[AutoCAD] のバージョンによって異なります。詳細については、電子マニュアルを参照してください。

- [印刷] ダイアログボックスを表示します。
- [プリンタ / プロッタ] の [名前] に、[iPFxxxx.pc3] のようなご使用のプリンタ名が表示されていることを確認します。

- [プロパティ] ボタンをクリックします。
  [プロッタ環境設定エディタ] ダイアログボックスが表示されます。
- 印刷に必要な設定を行います。
- [OK] ボタンを押して [プロッタ環境設定エディタ] ダイアログボックスを閉じます。
  [印刷] ダイアログボックスが表示されます。

- [印刷] ダイアログボックスで必要な設定を行い、[OK] ボタンをクリックします。
  印刷が開始されます。

索引

英数字

い

う

か

き

す

ち

て

は

ふ

へ

ま

ゆ

よ

ろ